

大学ICT 推進協議会 (AXIES)

年次大会を現地とオンラインのハイブリッドで開催 アフターコロナを見据えた イベントの新たな理想形を実現

2021年12月15日からの3日間、大学ICT推進協議会の年次大会「AXIES2021」が開催されました。COVID-19感染拡大に伴い完全オンラインで実施された昨年を経て、今回は史上初となる、幕張会場とオンラインのハイブリッドで開催。シスコは、実行委員会を務める慶應義塾大学と協力し、ニューノーマルにおけるカンファレンスやイベントの理想形を実現するべく、Webex と Cisco Meraki のテクノロジーを提供、本イベント開催を支援しました。



大学ICT 推進協議会 2021年度 年次大会

開催期間

2021年12月15日(水)～17日(金)

開催地

幕張メッセ 国際会議場 (ハイブリッド開催)

URL

<https://axies.jp/conf/axies2021/>

ICT を利活用した教育・研究・経営の高度化を図り、我が国における教育・学術研究・文化ならびに産業の発展に寄与することを目指す大学 ICT 推進協議会 (AXIES)。2021 年 12 月に行われた年次大会「AXIES2021」は、史上初めてオンラインと幕張会場のハイブリッド開催となりました。シスコは Webex と Cisco Meraki テクノロジーを提供し、本イベント開催に協力しました。

課題

- ・ コロナ禍で教育を取り巻く環境もドラスティックに変化
- ・ オンラインでの会議、イベント開催や新たな働き方が加速する一方、対面の必要性も再認識された
- ・ 現地参加とオンライン双方のいいところ取りしたハイブリッド開催とすることで、アフターコロナにおけるイベントの新たな理想形を示す機会としたい

ソリューション

- ・ 設営が簡単、管理性も高い Cisco Meraki で、来場者に高品位なワイヤレス環境を提供
- ・ アプリから専用デバイスまでを持つ Webex は、ハイブリッドなイベント開催に有用
- ・ イベントの双方向コミュニケーションをさらに向上する Webex の新機能 Slido も活用

結果

- ・ 3 日間の期間中、大きなトラブルもなく無事に終了
- ・ Webex と Cisco Meraki、インターネットとクラウドを活用したシンプルなハイブリッド環境を構築、参加者へ都合に合わせた選択肢を提供

今後

- ・ シスコとはこれからの大学に求められる、オンラインと対面の使い分け可能な、ハイブリッドな環境整備の共創に期待



シスコと共に現地と
オンライン双方の
いいところ取りした
ハイブリッド開催を実現し、
アフターコロナにおける
イベントの
新たな理想形を示す機会に
したいと考えました。

中村 修

慶應義塾大学 環境情報学部 教授
AXIES2021 実行委員長

ソリューション

設営が簡単、管理性も高い Cisco Meraki 来場者に高品位なワイヤレス環境を提供

AXIES2021 の幕張会場では、Cisco Meraki クラウド管理型ワイヤレス ソリューションを採用。30 台のアクセスポイントが稼働しました。同じく実行委員の慶應義塾 情報セキュリティインシデント対応チーム 助教の近藤賢郎氏は「ハイブリッド開催のイベントでは、これまで以上に高品質で安定したワイヤレス提供が求められます。Cisco Meraki の魅力はまず、限られた期間内で少人数でもデプロイ可能な設営のしやすさ。これまでは事前に 3 ~ 4 日合宿して構築する必要がありましたが、今回は事前にクラウドで設定を済ませておき、会場ではアクセスポイントの電源を入れるだけで Config が自動投入されて、ゼロタッチで利用が開始できました。サーバなどの機器持ち込みの必要もなく、日帰り 2 日間で、しかもこれまでよりも少人数で設営が完了しました。



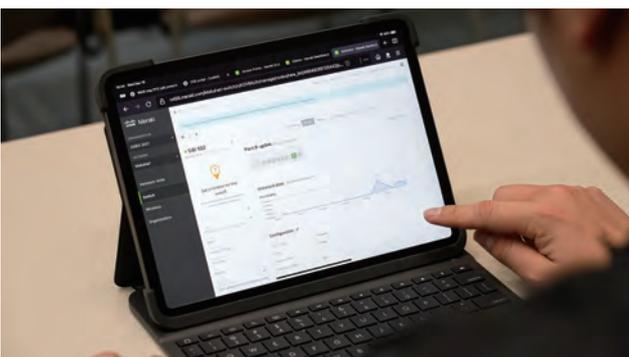
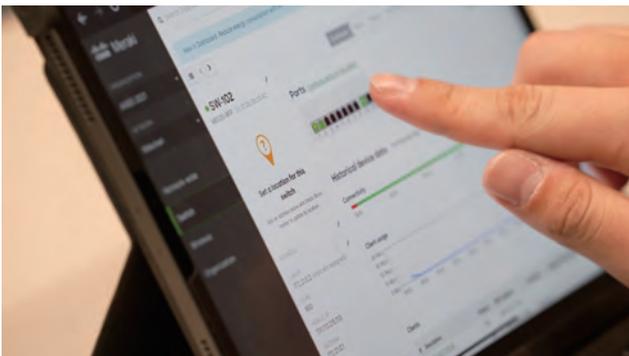
Cisco Meraki アクセスポイント

もう 1 つの魅力は、管理性の高さです。カンファレンスやイベントには多くのデバイスが持ち込まれ、大量の通信が発生します。開催側は状態を監視し、常に高品位な無線環境を提供することが求められます。Cisco Meraki は、トラフィックの状態や認証成功率などをリアルタイムに把握する管理機能があらかじめクラウドダッシュボードに組み込まれていることで、管理性も高くユーザライクな UI により、設定や操作も非常に簡単でした。」

アプリから専用デバイスまでを持つ Webex のハイブリッドイベント活用メリット

現地とオンライン参加者の共通プラットフォームには、Webex が採用されました。工藤氏はその効果をこう話します。「ハイブリッド開催では講演や会議を会場内だけでなく、オンラインの参加者にも臨場感を損なわず、かつ手間のない操作で共有することが求められます。その点 Webex は PC アプリ、モバイルアプリに加えて専用デバイスがあり、事前の準備なしに Web ブラウザでも参加が可能など環境に応じて使い分けられる点が魅力です。各会議室では PC で、全体会など大会場での重要なカンファレンスは複数のビデオ入出力に対応し、拡張性にも優れた専用デバイスを利用することで、安定、高品質な双方向のカンファレンスがシンプルに実現します。画質はもちろん、ノイズ除去機能が、にぎやかなイベント会場で、高い効果を発揮しました。また、シスコの展示ブースでは小型の専用デバイス Webex Desk Pro による、双方向のリモート説明も実施されました。これであれば子育てや介護などで現地に来られない社員も参画でき、新しい働き方も実現します。」

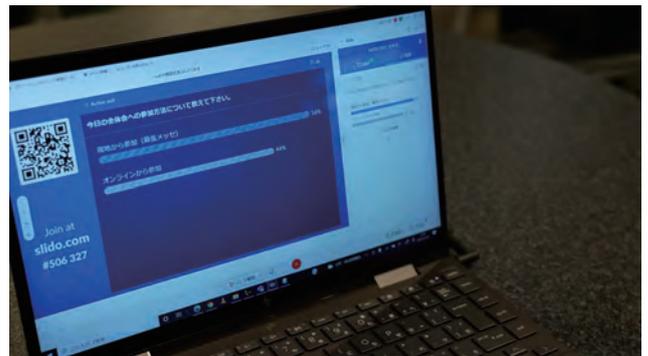
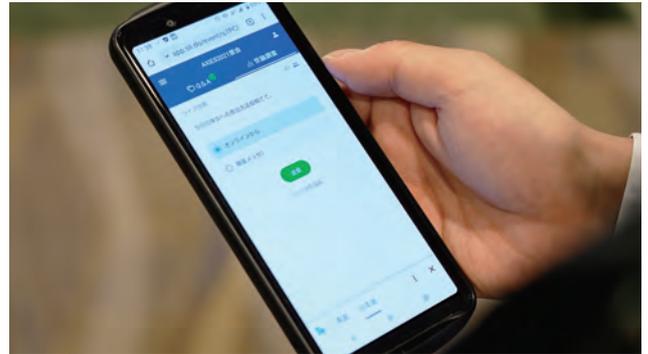
Cisco Meraki クラウド管理画面



イベントの双方向コミュニケーションをさらに向上 Webex の新機能 Slido も活用

本大会のハイライトとなる全体会では、Webex に追加された Slido も活用されました。Slido は、オンライン コミュニケーションの際に、参加者の反応がわかりにくい、一方方向になりがちといった課題を解決するために開発されたクラウドサービスです。Webex でオンライン参加する参加者だけでなく、会場にいる参加者もスマートフォンで Q&A やライブ投票機能にアクセスでき、会場とオンライン上のすべての参加者のエンゲージメントを高めます。従来の選択式アンケートに加えて、参加者の回答が画面に次々に表示され、使われた回数に応じてその単語が大きくリアルタイムに表示される機能や、参加者からの質問をその場で受け付ける、他の参加者の質問に「いいね」をすることで、Q&A セッションに一体感を出し、その場を盛り上げることもできます。

工藤氏はその効果を「ハイブリッド開催では会場とオンラインが分断せず、また講演者側の負荷を高めない工夫も必要です。参加者全員が共通プラットフォームとして Slido を使うことで、現地とオンラインの区別を意識することなく、スムーズなコミュニケーションが実現します。いいね！ など共感を示す機能も有効ですし、現地参加者も質疑応答がオンラインなら、手を挙げづらい、質問しづらいといった心理的障壁が払しょくされ、議論が活性化します。また、こうしたやり取りは終了後に PDF やエクセルでデータとしてすぐに抽出できるため、集計や分析もしやすく、振り返りを次回開催に活かすことができるでしょう。」と語ります。



参加者の Webex 画面



シスコ展示ブース

「大学 ICT 推進協議会」の講演当日



結果～今後

AXIES2021 は 3 日間の期間中、大きなトラブルもなく無事に終了。幅広い分野における企画セッションや研究発表が行われ、熱い議論が交わされました。

近藤氏はその評価と、シスコへの期待を次のように話します。「これまでオンラインでのイベント開催には、大量の機器を持ち込み、設営する手間もかかりましたが、今回は Webex と Cisco Meraki でインターネットとクラウドを活用して、非常にシンプルにハイブリッドな環境を構築できました。カメラやマイク、スピーカーなどの各種デバイスの進化もあり、参加者には現地とオンラインをまたいで、自身の都合に合わせた選択肢を提供できたのではないかと思います。シスコにはネットワークインフラからセキュリティ、コラボレーションなどのアプリケーションレイヤまで幅広いソリューションがありますので、今後とも密に連携できることを期待しています。」

工藤氏は反響について「来場者、オンライン参加者共に操作もわかりやすく、画質や音声についても満足とのアンケート回答が寄せられました。会場でも、オンラインに接続することで資料が手元で見やすかった、質疑応答もやりやすかった、といったハイブリッド開催ならではの声も聞くことができました。こうした声を次回以降に活かしていきたい。」と語り、今後の展開として Webex に新たに仲間入りをする、複数のセッション、トラックをシームレスに同時開催できるオンラインイベント プラットフォーム Socio にも期待を寄せます。「Webex プラットフォームとして Socio の機能が使えることで、さらに包括的で費用対効果の高い、使いやすいハイブリッドイベントが実現できると期待しています。イベント開催がライブに戻る中、バーチャル体験と組み合わせることで、より多くの人たちと深く交流でき、その価値はアフターコロナとなってもさらに高まるでしょう。シスコは長く大学、研究機関などのコミュニティ、次世代への投資支援を行い、今回のイベントでも多くのコントリビューションをいただきました。大学で学ぶ学生は『未来からの留学生』であるべきで、大学は現代社会におけるインフラより数歩先の環境で教育、研究を実施したい。シスコには日本のみならず世界の大学において、そうした環境の実現に向けた協力を期待しています。」



慶應義塾大学
環境情報学部 教授
中村 修 氏



慶應義塾大学
SFC 研究所 上席所員
工藤 紀篤 氏



慶應義塾
情報セキュリティインシデント対応チーム
助教
近藤 賢郎 氏

最後に中村氏は、これからの教育機関のデジタル化とシスコへの期待について、次のように結びました。「コロナ禍という未曾有の事態は、各機関にこれまで以上に未来の教育現場のあり方を真剣に考え、さまざまなツールを使いこなす機会をもたらしました。これからの大学はキャンパスのICTだけではなく、場面によってオンラインと対面の使い分け可能な、ハイブリッドな環境整備が求められます。シスコとはこれまでも長くネットワークインフラや遠隔授業、セキュリティなど多岐にわたりお付き合いを続けてきましたが、今後、我々はさらに多種多様なシステムと連携、インテグレーションし、使いやすいサービスとして提供していくことを求めます。シスコにはこれからもオープンなマインドを持ち続け、教育機関のパートナーとしての共創に、期待しています。」

その他の詳細情報

シスコの教育業界向けソリューションの詳細は、
<https://www.cisco.jp/go/education> を参照してください。

Slido の詳細は、
<https://www.webex.com/ja/audience-engagement.html> を参照してください。

製品 & サービス

- Webex Events
- Slido
- Cisco Meraki MR シリーズ

「大学 ICT 推進協議会」のガイドブック



シスコ コンタクトセンター

自社導入をご検討されているお客様へのお問い合わせ窓口です。
製品に関して | サービスに関して | 各種キャンペーンに関して | お見積依頼 | 一般的なご質問

お問い合わせ先

お電話での問い合わせ

平日 10:00-12:00, 13:00-17:00
0120-092-255

お問い合わせウェブフォーム

[cisco.com/jp/go/vdc_callback](https://www.cisco.com/jp/go/vdc_callback)



©2022 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
Cisco, Cisco Systems, およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における商標登録または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R) この資料の記載内容は2022年2月現在のものです。この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>